

朝霞市議会議員

無所属

議会報告

VOL.20

働く人の立場で、福祉の力で、朝霞市を変えたい

くろかわしげる®



1970年サラリーマン家庭に生まれ、本町2丁目駅前商店街の中で育つ。根岸幼稚園、朝霞六小、朝霞一中、自由の森学園、札幌学院大卒業。1993年紙・文具卸「大丸藤井」に就職。1998～2011年自治労中央本部勤務。2011年朝霞市議会議員選挙に無所属で立候補、1064票を獲得して当選。福祉を受けもつ民生常任委員会に所属。三児の父親として、仕事と子育ての両立に奔走中。

7ロちゃん



←ほぼ毎日更新Blog「きょうも歩く」<http://kurokawashigeru.air-nifty.com/>

連絡先くろかわしげる後援会 電話090-2747-5232 〒351-0025朝霞市三原3-31-9-404 kurokawa@post.nifty.jp



くろかわしげる
1期目の議員活動の
成果と課題

無所属無会派でも 突っ込んだ議論で 改革をリード

2011年市議選で市議会に送っていただき、まもなく4年。9月末に今任期の最後の定例市議会が終わりました。みなさまに4年間の成果と課題をご報告いたします。公約として挙げた政策27件のうち、実現したものは保育園の均等な配置、臨時職員の雇用改善など11件、実現に向けて検討開始されているものが医療と介護の連携など9件です。

議会で数少ないサラリーマン出身議員として ベッドタウンの生活に関わる課題を取り上げる

くろかわしげるは、朝霞市議会では数少ないサラリーマン家庭出身の議員として、その声や感覚を、議場や行政に持ち込んできました。ベッドタウン朝霞市で、地縁・血縁の少ないご家庭が困っていることを想像しながら、生活を支える保育、介護、通勤環境、地域交通、住宅などの分野の政策改善に、数字や制度と格闘しながら問題提起をし続けました。



財政難に直面、未来の夢も困難も考え 市民と地域を作る市役所にフッシュし続けました

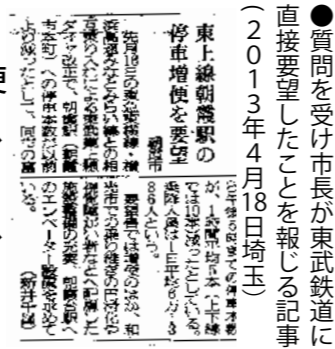
新人で会派のない4年間でしたが、想像以上に活躍する機会をいただきました。財政難に直面し市民に痛みを求める政策も増え、突っ込んだ議論が求められたとき、経験や、日頃からの政策勉強、市民との意見交換が役立ちました。議会が無力だと言われないよう、議会改革や、修正案の提出にも挑戦し続けました。これからも、朝霞市議会が市政の改革情報の玉手箱になるように、言葉の力を信じて努力します。市政が改革されて、市民からプラスの力を引き出す市役所にしていきます。

2～3ページ：取り組みと実績 4ページ：これからの政策課題、事務所開設のご案内

勤労者・生活者の視点で行政を変えました

くらわしげるは市議会で、保育や介護、通勤環境、住宅などの政策を、自らの問題として取り上げ、改善を働きかけてきました。ただ便利さを追い求めるのではなく、当事者はここまでは我慢できるが、ここからはきちんと行政が政策化しないと、とメリハリある主張をして、政策を変えてきました。

- 取り組んだこと●・成果を上げたこと○**
- 分譲マンションの未来の問題を提起、政策化が始まる（相談業務の開始、データベース化の着手）
 - 東上線ダイヤ改正による準急・普通の減便に、市の対策を強めさせる（定期協議のほか、市長による直接申し入れ）
 - 保育園を増設（定員 1540 人→2540 人）し、新設園の地域の偏りを解消
 - 24 時間体制の在宅介護が始まる
 - 新条例で市役所の非正規職員の安定雇用を実現
 - 市役所が発注する仕事で働く人たちの労働条件の改善



●質問を受け市長が東武鉄道に直接要望したことを報じる記事（2013年4月18日埼玉）

住み続けたい実感のために改革中

「住みよいまち」になるために朝霞市民が自分たちのまちと実感できる、市民と行政の信頼関係とコミュニケーションが必要です。やりたいこと、変えたいことがあったとき、意見を言う場があって、仲間を見つけられて、情報が得られる仕組みが必要です。市民が困ったときには、解決に向けて相談できて、手助けを受けられる仕組みづくりも必要です。自治体が誰のものなのかを意識して、バランスを考えながら政策提言を行い改革を進めました。

- 取り組んだこと●、成果を上げたこと○**
- 基地跡地の利用計画の見直しでは、公務員 宿舎建設反対派も委員に入れることを促しました。今年、公園化と一部公共用地化で計画がまとまりました。
 - 総合計画、景観計画、わくわく号の改革の検討で多様な市民が意見を言える仕組みづくりを促してきました。朝霞の森の運営では、利用者の市民によるルールづくりが行われています
 - 民間が参入する福祉に、利用者参加の運営や、良質な業者が評価される仕組みづくりを提案し続けています
 - 市の自主的な情報公開を拡大させました
 - 障害者団体と市議会議員の意見交換の場設定をアシスト
 - みんなの公民館へ。使用ルールの規制緩和に取り組みました
 - 財政情報の市のホームページでの公開など透明化を進めました（財政分析に必要な資料はすべてホームページで公開）



●市民が責任をもって自由に使う「朝霞の森」。秋祭など市民の利用が定着しました。私もごみ係として協力しました。

議会の情報公開度が大幅アップ

議会改革・広報広聴推進副委員長として、議会の公開を進めるために調査、説得や合意形成に尽力。早稲田大学マニフェスト研究会の改革ランキングのうち情報公開分野で 1781 自治体中 2013 年は 1211 位から 2015 年は 385 位に大幅に改善しました。

- 成果を上げたこと○**
- 議員個人の賛成・反対の公表
 - 分野別の4つの常任委員会の議事録の公表
 - 本会議のインターネット中継・録画公開の開始
 - 議会に提出された市民請願の本文の公開

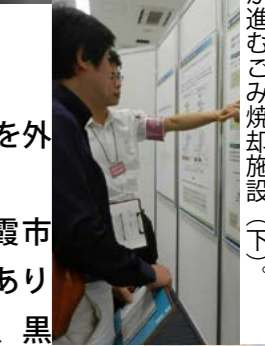
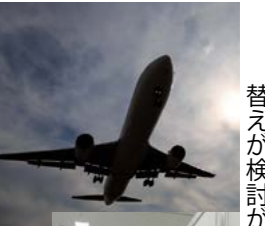


●ホームビデオカメラを使って議会議中継をしている自治体の事例も調べて、コストのからない議会中継を実現。

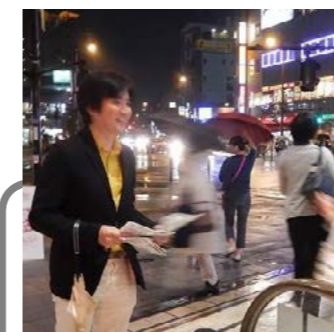
大きな問題に立ち向かいました

ひとりの市議会議員には身に余る重い問題であっても、市民が不幸になる、市民に不利益がふりかかると思うことには、正面から問題提起をしました。市民のみなさまが忙しい、言いにくいと思う問題こそ、政治家は、嫌われても何でも、正しいと思えば意見を言い行動していくべきと考えています。

- 取り組んだこと●、成果を上げたこと○**
- 朝霞市が、羽田空港の新着陸ルートにかかっていることをいち早く見つけ、市が国に対策するよう迫っています
 - 障害者医療費補助から、入院食事代を外し有料化することに反対しました
 - 15年で40億円を余分に使う、朝霞市単独のごみ焼却施設の建て替えに異議あり
 - 有り金使い切る財政運営に喝を入れ、黒字倒産の危機を回避。市の貯金の財政調整基金を2015年度末で11億円まで積み戻させました
 - 川内原発再稼働に反対を求める意見書に賛成しました。
 - 事件の隠蔽につながる「いじめゼロ」の教育委員会の方針を、いじめを早期に見つけて解決する方針に変えました



●住宅地にマイナスと航空路新設には情報収集に奔走（上・中）。2021年の建て替えが検討が進むごみ焼却施設（下）。



○か×だけではないぜぜヒヒ 市議会議員の仕事のやり方のカイゼンと挑戦

2011年市議選の**27件の公約のうち、くらわしげるが達成できた政策は11件**、保育園の地域バランスの取れた開設などです。働きかけたものの、市が検討中で未達成は9件、全く進展なしが7件の結果です。市役所が財政難のなか、野党議員としてまずまずの実現率だと評価しています。議員にとって公約や要求を実現させるだけではなく、市長・市役所の提案に対するチェック能力はもっと重要な課題です。4年間で**346本の市長提出議案のうち42本に反対しました**。政局的な反対はせず、認めるものは認め、良くない議案、再考を求めるべき議案には、市長や市役所の顔色を見ずに反対を投じてきました。賛成しなかった率は12.1%。24人の市議のうち6番目です。市長提出議案のうち、不満でも直せば良くなる議案には、**修正案を出し続けました。委員会に3本、本会議に2本出し、朝霞市議会のなかでは過去最多の数です**。残念ですが修正案は全敗。

くらわしげるが書き起こした国への意見書は、障害者福祉の人権保障と子ども医療費無料化に関して国に要望する内容の2本で、両方とも全会一致で可決させています。マスコミで話題になっている政務活動費ですが、月2万円48ヵ月分で96万円支給されたうち、23の有償研修に交通費込みで約40万円、参考書籍225冊約52万円、その他を文具代など事務所費に使いました。**政務活動費のほとんどを議員向け研修の参加費や交通費と、議会活動に関連する書籍購入に充当しました**。4年間、市議会で福祉・健康を担当する「民生常任委員会」に所属し、前職でつちかった福祉分野の政策知識をフル活用しました。政党を否定しませんが、**党籍も、議会内の会派も無所属**で活動しました。そのため是々非々主義を通すことができました。16回の定例会のすべてで市長提出議案への質疑や、自らの問題意識を行政にぶつける一般質問を行い、論陣を張りました。



未来に向けて言い続けます

2016年からのくろかわしげるの取り組み

4年間の取り組みを振り返って、くろかわしげるが、2016年からの朝霞市で取り組む主な課題として7点を考えています。市民のみなさまのご意見をさらにいただきながら、11月中旬の次号で詳しく公表します。

○「自分のまち」と実感できる市民参加を推進します。

ルール決めも市民参加する仕組みづくり／自治基本条例の制定
／計画策定の手法の改善

○保育・教育・子どもの安心政策を総点検します。

保育園や学童保育の増設／妊娠・出産の不安をなくす支援／子どもの安全が守られる学校運営／子どもの相談・問題解決に取り組む救済機関の設置／施設以外の子どもの遊び場の育成／二本松通りの歩道整備の推進／学校給食への放射能検査の強化

○老いても住み続けられるまちづくり・住宅政策。

24時間在宅介護体制づくり／団塊ジュニアの高齢化への対応の着手／分譲マンションの高齢化対策／当事者参加でのバリアフリーの推進／地域福祉の推進のための社会福祉士の確保

○黒字倒産回避へ、持続可能性のある市財政に改革します。

中期財政計画の作成／仕事をした量ではなく仕事の効果が測られる行政評価／財政調整基金25億円確保で安定した財政に

○羽田新着陸路の朝霞上空への設定に反対します。

○基地跡地の緑地を守ります。

ご意見をおうかがいします

これまでの政策の取り組み、これからの朝霞市への課題、問題意識などを説明したり、みなさまのご意見をお聞きしたいと考えています。遠慮なく表紙の連絡先にお声かけください。

ボランティア・ お手伝いを募集します

くろかわしげるが政治活動をする上で、お手伝いしてくださる方がいると大変助かります。内容としては、

- 議会報告の投函や発送事務
- 事務所内軽作業

などがあります。ご協力くださることができ
方がいましたらご一報ください。